

携帯電話やスマホについての一考

10 数年ほど前に「妙高市の教育委員会や校長会が市内の小中学生に携帯電話をもつことを禁止するよう提言する方針を固めた」とテレビ・新聞などで報道されました。当時、妙高市の小学生の携帯電話所持率は5.3%、中学生の携帯電話所持率は21.5%だったそうです。妙高市では、「学校裏サイト」でのいじめや出会い系サイトの問題が相次いでいたと、報道されています。

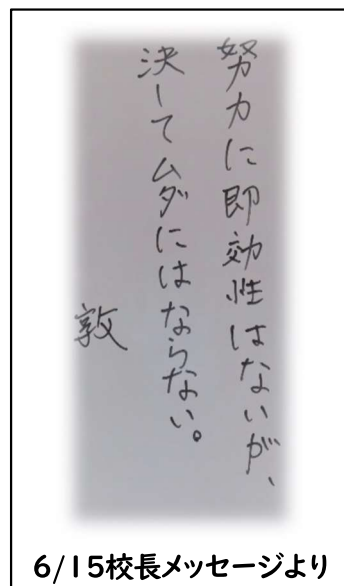
また、妙高市教育委員会が市内の小学校12校と中学校3校の保護者2631人を対象にしたアンケートでは約88%が「子どもには携帯電話やスマホは必要ない」という結果でした。妙高市教育委員会・校長会・PTA代表らでつくる検討委員会では、「所持率が低いうちに対策をとる必要がある」と判断しました。条例や校則では禁止しないが、「クリスマスプレゼントやお年玉で子どもに携帯電話やスマホを買わないで」と、翌月まとめる最終提言で市民に呼びかけるとしました。

文部科学省では「地方公共団体が中心となり、ここまで踏み込むのは珍しい」というコメントを残しました。

10 数年も経っているので、現在に合わない点もあるかもしれません。現在は、中高生を中心にSNS内での誹謗中傷や仲間外しが深刻な問題となっています。

当時、携帯電話を持つことを禁止したことについて、当然のことながら賛否両論が渦巻いていました。「GPS機能もあり、防犯上必要」「子供にも持つ権利がある」などの反対意見もありました。しかし、「大人の知らない間にいじめが進んでいく」「出会い系サイトなどにより犯罪に巻き込まれる可能性がある」「なぜ、子供に携帯電話が必要なのか、理解できない」など賛成意見も多かったようです。また、当時の警察庁の調査では、携帯電話を持つ中学生は携帯電話を持たない中学生に比べ勉強しない割合が16.4%も上回っているというデータもありました。勉強する時間よりも仲間との会話やメールやSNSに時間が割かれているのだと思われます。そういえば、メールやSNSが来たらすぐに返さないと仲間はズレにされるという話を聞いたことがあります。さみしい人間関係ですね。これが果たして本来の子どもの姿なのでしょうか。

私は携帯電話やスマホを持たせるかどうかは、最終的には親の判断だと思います。持たせることによって、愛するわが子との会話が減ってしまいます。わが子が不幸になるようなことがあれば、親として一生後悔することになるはずです。また、そのような不幸がわが子に舞い降りてきているケースがあれば、親子でショックを受けることになるはずです。大人の知らないところでそのような不幸がじわじわと進んでいくのです。もちろん、加害者となる生徒の行為に



6/15校長メッセージより

についてもその保護者は知らないはずです。また、多額の使用料金がかかったり、親の目を盗んでさまざまな機能を使ったりするようになるのです。私は、そのような恐ろしい道具（武器）を小学生や中学生に持たせる勇気はありません。どうしても持たせなければならないのであれば、間違った使い方をしない。学習時間に支障がないよう、時間を決めて使わせる。他をおとしめるようなことはしない。学校へは持って行かない等、しっかりと約束をさせ、その約束が守れないのであれば、取り上げ、契約も解除します。その覚悟がなければ親として許可しません。

それよりも周囲への優しい言動や思いやりのある行動、人権感覚、「ならぬことはならぬ」等人としての正しい道を教えるなど、わが子に精一杯の愛情を注ぐと思います。

部活動結団式（5月19日）

新入部員を迎え、各部の決意発表や応援委員会による応援を行い、これからの部活動に対する決意を新たなものにしました。



体育祭5月に開催!!（5月29日）

見たい景色は何色だ？ ～ 紅 白 青 ～ 笑顔の力で駆け抜けろ！

初の5月開催で令和3年度の体育祭が開催されました。昨年度は、コロナ禍の影響で、午前半日日程となりましたが、今年度も万全のコロナ対策をとりながら、1日日程で行いました。

万が一のため、昨年度と同じ数のテントを借りていました。また、入場口を1か所に絞り、来場者の体温測定と手指の消毒を行いました。また、生徒が競技や応援でも工夫を凝らし、制限のある中、十分見ごたえのある競技や応援になりました。

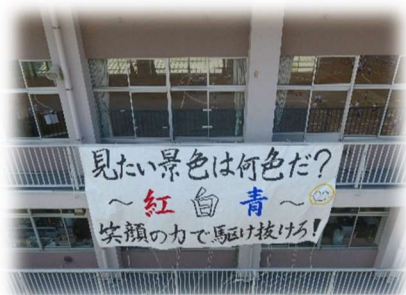
生徒会リーダーを中心に、恒例イベント「絆プロジェクト」として、昨年度に続き、開会式の後、全校生徒と教職員で輪を作り、ドローンで記念撮影しました。「保護者や地域の皆さんにも輪に入っていただきたい!」という思いは、来年度に託すこととなりましたが、生徒会リーダーの熱い思いが伝わってきた企画となりました。

また、「全校よさこい」も行われました。体育の時間に、特設よさこい部指導者でもある渡邊翔太様から指導していただきました。全校生徒が一斉に踊るよさこいは大変迫力がありました。

保護者の皆様からは、検温と消毒、テント片付けにお手伝いをいただき、ありがとうございました。また、多くの皆様からお越しいただき、ありがとうございました。



体育祭の様子



リーダーとしてがんばった3年生！



体育祭のふり返り（6月1日）

体育祭代休明けの6月1日（火）に、体育祭のふり返りを行いました。後半に、1・2年生は武道場、3年生は多目的室に別れ、密にならないように間隔をとりながら、体育祭の映像を見ました。実際に、グラウンドで動いている生徒と違う目線からの映像を見て、体育祭を思い出しながら、達成感を得られたと思います。



学級花壇の花植え（6月9日）

～地域のみなさんありがとうございました～

6月9日（水）に花壇の花植え活動を行いました。苗の種類や花壇レイアウトは学級で相談して決めました。当日は、環境委員が、地域の皆様から教えていただきながら植えました。また、生徒玄関前のプランターも苗を植えました。来校者の皆様や地域の皆様、頸城中生徒の心に潤いを与えることができるよう、環境委員や各学級で水やりに取り組んでいます。



地区大会壮行式（6月10日）

6月15日（火）から始まる地区大会に向けた壮行式が行われました。各部の決意表明や応援を通して、頸城中学校の代表としての自覚をもつとともに、大会に向けて全校の士気を高めました。地区大会の結果は、学校だより7月号にてお伝えします。

